

## 研修報告書:

作成日:2023年 8月16日

作成者:宇野 香二

|       |                         |      |      |
|-------|-------------------------|------|------|
| 所属会派  | おかや未来研究室                | 委員氏名 | 宇野香二 |
| 研修の名称 | おかや未来研究室 行政視察           |      |      |
| 日程    | 令和5年8月8日(火) 13:30～15:00 |      |      |
| 研修内容等 | 埼玉県行田市役所を訪問 防災についての視察   |      |      |

### 【概要】

行田市役所側からは、おもに岡村危機管理課長中心に、長澤副参事、平井主査より防災士養成講事業について説明をして頂いた。その後活発な質疑応答があり、有意義な視察となった。野本市議会議長よりあいさつがあり、新井議会事務局長や他の事務局職員の対応もあり、分かりやすいようにレジュメも用意してもらうなど全体的に丁寧に対応していただいた。

### 【内容】

防災士養成事業の目的および経緯と理由

(目的)地域の防災リーダーとして「防災士」を養成し、地域防災力向上をはかること。

(経緯)181の自治会のうち180ある自主防災組織の活性化をはかり、さらなる地域防災力の向上を図るため、令和4年度から「行田市防災士養成講座」及び「防災士試験」を実施することになった。

(理由)高齢化や人口減少等により、自主防災組織リーダーの担い手不足という市の実状があった。地域の防災リーダーの育成にあたり、さらなる防災意識の醸成と実践対応能力育成を図る取り組みとして、防災に関する意識・知識・技能を高められるから。行田市との強い絆をもつ防災士、地域防災リーダーを輩出したいとの思いから。

・防災士養成講座の結果と今後の予定

(結果)去年の12月に開催し、86人受講し82人合格、うち女性4人。今年の7月は89人が受講し、79人が合格、うち女性10人。市として防災士資格取得者は計251人に。各自治会から推薦される受講者の募集にあたっては、各自治会長へ直接電話するなどして、啓発に注力した。

(今後の予定)来年度についても、各自治会から推薦された市民に対する養成講座や助成事業を継続する予定。その後については、市内の企業からの推薦者や一般の市民の希望者に対する助成を考えていきたいとのこと。

・防災士養成講座開催にあたって苦労した点と課題

(苦労した点)初めて開催にあたって、申請してから資格証発行まで8ヶ月かかったこと。審査期間中に並行して自治会への啓発を行ったこと。防災士機構の担当者とのやり取りを何回もしたことなど。

(課題)市の郊外の自治会の意識が低く、受講者の推薦が少ないこと。180の自主防災組織の全てに、防災士を輩出していきたいとのことであった。

・防災士養成講座開催、資格取得助成による効果

(効果)例えば、防災無線が聞こえなかったと防災士からの自発的な情報提供など、防災意識の向上は着実にはかられている。消防訓練については消防団と連携して行っており、平時についても防災意識を高める啓発活動も期待される。

### 【講義の感想】

災害に強いまちづくりのために、ひとづくりすなわち地域の防災リーダーの輩出、育成が不可欠と考える。

そのための防災士資格取得の助成であり、今回視察した行田市では単なる助成ではなく、自前の養成講座を開催し、地域から推薦された市民に資格取得を通して、地域防災リーダーになって貰いたいとの強い意気込みが感じられた。災害に強いまちを目指す岡谷市も、自主防災組織の現状と消防団との連携を考慮しつつ、防災士資格取得の助成により地域防災力向上を図るべきと考える。